

## 児童発達支援アンケート評価結果について

令和4年11月に実施いたしましたアンケート評価の結果がまとまりましたので、ご報告させていただきます。頂いたご意見をもとに、職員一同より良い支援が行えるよう努力して参ります。今後も家族参加型イベントや家族向け学習会の開催等、事業所を挙げて取り組んでまいりますので、引き続きご愛顧いただきますようよろしくお願いいたします。

事業所名 ひだまり水沢駅東

所長名 千葉 浩枝

### 環境・体制整備

職員配置は、基準を上回る配置となっており、現在管理者兼保育士1名、児童発達支援管理責任者1名、主任児童指導員1名、保育士兼訪問支援員1名、保育士1名、児童指導員2名、指導員1名、計8名で日々の支援に努めております。

職員の専門性については、リモートでの外部研修への参加や毎月職場内で研修を行う他、毎日の朝会で支援について振り返り、改善策について話し合いを通して学ぶ機会を増やしました。

事業所の設備等については、玄関前にスロープがあり、事業所内は段差等なくバリアフリーとなっております。構造化については、下駄箱やロッカー等必要な場所に目印を付け分かりやすくなるよう配慮しました。生活空間については、活動内容に合わせ部屋を使い分けております。

### 適切な支援の提供

児童発達支援計画については、保護者との面談時にニーズをお聞きし、アセスメント内容に基づき課題分析の上で作成しております。生活リズムを大切に、支援計画への取り組みや、多くの経験が出来るよう活動プログラムの内容を工夫し、タイムテーブルに沿って行っております。支援開始前には、打ち合わせを行い統一した支援提供が出来るよう努めました。保育所等や障がいのない子との活動する機会については、今年度から開始した事業ということもあり実施しておりません。

### 保護者への説明

日々の支援状況においてアセスメントした情報や成功体験について、送迎時や連絡帳に記載し、お伝えするように努めております。今後も家庭環境に目を向け、家族の負担を軽減することが出来るよう保護者と情報共有し、サポートが出来るよう努めます。

保護者会の支援については、コロナ禍で活動に制限が生じている現状ですが、開催時には積極的に協力したいと考えております。

情報発信については、ホームページや広報誌、月一回のブログとお便りを活用しております。

### 非常時の対応

各種マニュアルについては、各委員会で見直しを行い、現場でより活用しやすい内容に改正したマニュアルを、事業所入口に閲覧用として用意しております。避難訓練については、「分からない」との回答があり、説明不足と受け止めております。今年度は火災2回・水害・地震を想定した訓練を計4回実施しました。その他、職員による初期消火訓練と消防署員の方によるAED・心肺蘇生法の訓練を行いました。いざという時に備え、継続的に研修の場を設けたいと考えております。

## 満足度

「通所を楽しみにしているか」「支援に満足しているか」は共に 100%の評価を頂きました。今後も発達段階に合わせ、楽しく意欲的に活動し、力の発揮が出来るよう努めます。ご要望等あればいつでも遠慮なくお申し出ください。利用者・保護者の皆様にご満足頂ける居場所・支援提供を目指し努めて参ります。

(保護者等の皆様へ)

この児童発達支援評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所を利用しているお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。

「はい」、「どちらともいえない」、「いいえ」、「わからない」のいずれかに「○」を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	1件 100%				
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	1件 100%				自宅で色々な物事を教えていた時よりも、急激に出来る事が増えました。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	1件 100%				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	1件 100%				
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	1件 100%				
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	1件 100%				
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	1件 100%				
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	1件 100%				
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか				1件 100%	
	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	1件 100%				
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	1件 100%				
	12 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか	1件 100%				

保護者への説明等	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	1件 100%				
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	1件 100%				
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1件 100%				
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	1件 100%				
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	1件 100%				
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	1件 100%				
非常時等の対応	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	1件 100%				
	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	1件 100%				
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか				1件 100%	
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	1件 100%				毎日時間になると、自分で靴を履いて玄関で待っていて、職員の方を見ると笑顔で楽しく過ごせているのが分かります。
	23	事業所の支援に満足しているか	1件 100%				自分で見ている時より、活発に体を動かすようになり、笑顔が増えました。

\*1 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

\*2 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

\*3 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

\*4 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。

## 児童発達支援事業アンケート評価結果について

令和4年11月に実施いたしましたアンケート評価の結果がまとまりましたので、ご報告させていただきます。頂いたご意見をもとに、職員一同より良い支援が行えるよう努力して参りますので、引き続きご愛顧いただきますようよろしくお願いいたします。

事業所名 ひだまり水沢横町

所長名 高梨 恵

### 環境・体制整備

環境スペースに関しましては個室が完備されており、個別と集団で取り組めるような構造化を環境の中に作り過ごしています。また、利用者の数に配慮し部屋を分けて過ごしています。

職員配置につきましては、管理者兼児童発達支援管理責任者1名・保育士2名・児童指導員3名・指導員1名、計7名が配置されており指定基準を遵守しております。

バリアフリー化の配慮に関しましては1階の建物となっており、玄関にはスロープも設置されています。事業所内は基本バリアフリーとなっております。

### 業務改善

個別支援計画の支援の振り返りと見直し、評価（モニタリング）を年に2回実施し、目標を達成できるよう支援の見直しを定期的に行っております。

業務改善の視点から児童発達支援事業アンケートの実施を行い、職員間で評価について改善の取り組みや検討を行っています。

また、その結果を保護者へ公表しホームページ等にも掲載しております。

職員のスキルアップを図るためそれぞれに合った研修に参加しています。事業所内研修は毎月取り組んでおり外部研修にはZOOMでの参加もしています。

### 適切な支援の提供

児童発達支援の個別支援計画に関しましては、相談員からのサービス等利用計画書を基に保護者の方から聞き取りを行い、同意を得て作成しています。またガイドラインに沿って「発達支援」「家族支援」「地域支援」等必要な項目が選択され、具体的な支援内容を記載しています。

活動プログラムはガイドラインに基づいた内容で進めております。また、利用者が楽しんで取り組めるような内容を職員で話し合い、定期的に見直しをかけチームで立案しています。

個別と集団では現在、児童発達支援をご利用の方は2名となっており集団での取り組みにまだ課題がありますが、長期休暇中の放課後等デイサービスの利用者との交流も取り入れ大きな活動などでは集団での活動も実施しています。

また日々の支援や活動については記録に残し朝礼等で毎日、打ち合わせを行い翌日には必ず振り返りを行っています。

## 関係機関や保護者との連携

必要に応じて、移行の際は移行支援会議を開催し、相談員も含めて必要な情報の共有を図り移行がスムーズにいくよう配慮しています。その際、保育所や児童発達支援事業所の見学を行っている場合もあります。

また、関係機関との連携も大切にしており、重要な情報は保護者へも伝達するようにしています。

ご利用の際は連絡帳以外にも申し送り丁寧な説明を心掛けております。支援で上手くいったことは保護者へ情報提供し、保護者の悩みに対しても一緒に考える体制作りを目指しています。

## 保護者への説明責任等

運営規程、利用者負担、個別支援計画についてはなるべく丁寧に説明するよう心掛けており、個別支援計画については保護者からのニーズも取り入れ同意を得て作成しています。

保護者からの相談には常に応じるように努力しています。また、支援方法についても分かりやすい説明を心掛けています。

父母会の活動は現在、コロナ過と言う事で動きがなかなかない状況ですが、職員もサポート出来る体制を作っており役員を選出し保護者の活動を支援しています。

お子様の事業所での様子を保護者へわかりやすく理解して頂くため、毎月事業所からだよりを発行しています。年に数回、法人からも広報を発行しております。

個人情報の取り扱いには十分配慮し、定期的に職員へ周知徹底しております。

## 非常時等の対応

事業計画に反映させ年4回避難訓練を実施しております。地震・火災等の想定し得る避難訓練を行い職員、利用者共に合同の訓練を行っております。

緊急時対応マニュアル・防犯マニュアル・感染症対応マニュアル等の各マニュアルに関しては事業所玄関付近に設置しております。

個々の利用者のアレルギーや疾患については面談時に聞き取りを行い、対応しています。必要に応じて医師からの指示書をいただき対応する場合もございます。

ひやりはつとに関しては、記録に残し、職員間で改善について話し合いの時間を設け、事故防止に努めております。

虐待については年に4回職員に人権擁護チェックを実施しており、支援や対応について振り返りの場を設けています。また、身体拘束が必要な場合には十分な話し合いのもと、保護者の方へ説明を行い、2人以上での対応で行います。その際は必ず記録に残し、改善策を話し合う場を設けます。

## 満足度

ひだまり水沢横町事業所では100%という結果で保護者の方から「事業所の支援に満足しているか」の回答に「はい」と答えていただいております。今後もこの結果に甘える事がないよう満足度の継続を目指し、利用者が「行きたい」保護者が「預けたい」と思ってもらえる事業所を目標に職員一同切磋琢磨し運営に努めて参ります。

保護者等向け

児童発達支援評価表

(保護者等の皆様へ)

この児童発達支援評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所を利用しているお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。

「はい」、「どちらともいえない」、「いいえ」、「わからない」のいずれかに「○」を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	2件				
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	2件				
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	2件				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	2件				
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	2件				
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	2件				
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	2件				
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	2件				
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1件		1件		
	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	2件				
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	2件				

保護者への説明等	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか	2件				
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	2件				
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	2件				
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1件		1件		
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	2件				
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	2件				
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	2件				
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	2件				
	非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	2件			
21		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	1件	1件			
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	2件				
	23	事業所の支援に満足しているか	2件				

\*1 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

\*2 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者

\*3 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

\*4 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。



## 児童発達支援アンケート評価結果について

令和4年11月に実施いたしましたアンケート評価の結果がまとまりましたので、ご報告させていただきます。頂いたご意見をもとに、職員一同より良い支援が行えるよう努力して参ります。今後も家族参加型イベントや家族向け学習会の開催等、事業所を挙げて取り組んでまいりますので、引き続きご愛顧いただきますようよろしくお願いいたします。

事業所名 ひだまり水沢☆きらり

所長名 伊藤 恵美

### 環境・体制整備

職員配置につきましては、指定基準を遵守しております。職員間で話し合いを持ちながら支援に努めております。職員の専門性につきましては、外部研修はリモートで参加し、スキルの向上に努めており、学んだことを支援につなげていきたいと思っております。事業所設備等の配慮につきましては、車イスでの乗り入れがスムーズにできるよう、玄関に車いす用スロープを用意し室内はバリアフリー、トイレも車いす対応となっております。また、活動や、利用者様に合わせて、和室、指導訓練室等、活動のスペースについては、十分に確保ができております。

### 適切な支援の提供

個別支援計画については、利用者様の状況や保護者様の希望等をお聞きしながら、日々の療育につなげて参ります。活動計画については、マンネリ化にならないよう配慮し、意欲的に取り組むことができるよう努めて参ります。地域との交流につきましては、コロナ禍の為、制限がありました。重度心身障害児・医療的ケア児の事業所であることなどから、難しい面がありますが、今後どのような形で行うのが望ましいか、検討して参りたいと思っております。

### 保護者への説明

丁寧な説明、共通理解、意思の疎通や情報伝達の為の配慮等、保護者様との関係性について、高い評価を頂きました。さらなる説明、対応を職員間で話し合い、具体的な説明を心掛けて参ります。

### 非常時の対応

マニュアルの周知・説明については、事業所入り口で閲覧できるようになっており、また、契約時に説明を行っております。避難訓練に関しましては、地震、火災等年4回行っております。

災害時に必要な発電機を備えており、緊急時に対応して参ります。医療的ケアが必要な方の電気の供給が可能となっております。災害が起きた場合どこに避難するか、保護者様の希望等を確認し、個別支援計画に記載しておりますが今後、定期的に聞き取りをしていきたいと思っております。

#### 満足度

「通所を楽しみにしている」「支援に満足している」ともに高い評価を頂きましたが、「どちらともいえない」と回答がありました。楽しく過ごせるような活動内容、保護者様にも安心して頂けるような環境作りを職員全員で考え、提供して参ります。

保護者等向け

児童発達支援評価表

(保護者等の皆様へ)

この児童発達支援評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所を利用しているお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。

「はい」、「どちらともいえない」、「いいえ」、「わからない」のいずれかに「○」を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	86% (6件)	14% (1件)			もう少し広くてもよい
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	100% (7件)				
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	100% (7件)				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	100% (7件)				
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	100% (7件)				
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	100% (7件)				
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100% (7件)				
	8	活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	100% (7件)				
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	15% (1件)			85% (6件)	
	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100% (7件)				
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	100% (7件)				

保護者への説明等	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか	85% (6件)		15% (1件)	
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	100% (7件)			
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	100% (7件)			
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	29% (2件)		71% (5件)	
	16	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	85% (6件)		15% (1件)	今後も第二の家族としていろいろ相談したい
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	100% (7件)			毎日、その日の出来事を話していただけるので楽しく過ごしたんだなと感じている
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	100% (7件)			
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	100% (7件)			
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	71% (5件)		29% (2件)	
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	71% (5件)		29% (2件)	
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	85% (6件)	15% (1件)		
	23	事業所の支援に満足しているか	85% (6件)	15% (1件)		家族の事情にも相談に乗ってもらっているのがとても満足している 表情が豊かになり、毎日イキイキと過ごせるようになった

\*1 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

\*2 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者

\*3 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

\*4 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。

## 児童発達支援アンケート評価結果について

令和4年11月に実施いたしましたアンケート評価の結果がまとまりましたので、ご報告させていただきます。頂いたご意見をもとに、職員一同より良い支援が行えるよう努力して参ります。今後も家族参加型イベントや家族向け学習会の開催等、事業所を挙げて取り組んでまいりますので、引き続きご愛顧いただきますようよろしくお願いいたします。

事業所名 ひだまり胆沢  
所長名 小原 美智江

### 環境・体制整備

ワンフロアですが状況や活動内容に応じて、パーテーションや小上がりを活用し構造化を行っております。庁舎の一角をお借りしている為、バリアフリー化が難しい小上がりでの段差、トイレなどにつきましては常に職員が見守り、声掛けを行い安全面に配慮しております。

職員の配置につきましては、指定基準を上回る配置となっており、保育士、介護福祉士、社会福祉士、教諭資格を有している職員もおり、専門的な知識や視点からの支援が提供できるよう事業所内外の研修に参加し、伝達研修で専門性を高められるよう日々スキルアップに努めております。

### 適切な支援の提供

利用者様、ご家族様の願いやご要望から支援目標を計画し、スモールステップで自己肯定感を高められ、自信につながるような支援を行ってまいりました。今後もP(計画)D(実行)C(評価)A(改善)の中でアセスメント、振り返りを行い、職員間で支援方法や手順について話し合いを繰り返し、より良い支援について確認を行いながら実践に繋げていきます。

### 保護者への説明

職員全員が共通理解を深め、利用者様、保護者様のご要望、ご質問などに迅速に対応できるよう心掛けてまいります。コロナ禍で保護者様同士の交流の場を提供できていませんでしたが、感染症の対策を講じて計画してまいります。

### 非常時の対応

避難訓練は年4回実施しており、その他にも国土交通省の防災カードや危険予知活動を通して防災に関する知識を深める機会を設けてまいりました。感染症に関しましては文書やお知らせ版で講じている対策についてお伝えしてご協力を頂きました。今後も緊急時対応について解りやすくお伝えするよう心掛けて参ります。

### 満足度

「通所を楽しみにしている」「支援に満足している」について100%の評価を頂きました。今後社会で子どもたちが豊かな生活を送ることができるように、生きる力、命を大切に作る心を育ていけるよう、一人一人に寄り添った支援を行ってまいります。

保護者等向け

児童発達支援評価表

(保護者等の皆様へ)

この児童発達支援評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所を利用しているお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。

「はい」、「どちらともいえない」、「いいえ」、「わからない」のいずれかに「○」を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	50% (1件)			50% (1件)	のびのび活動できる。我が子で困ったことはない。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	50% (1件)			50% (1件)	専門性は適切である。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	50% (1件)			50% (1件)	我が子で困ったことはない。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	100% (2件)				過ごしやすい空間である。消毒など清潔に整備、対策されていて安心している。
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	100% (2件)				面談の時間を設けて頂いて有難い。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	50% (1件)			50% (1件)	すべて把握していない。（保護者）
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100% (2件)				
	8	活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	100% (2件)				
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	50% (1件)			50% (1件)	
	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100% (2件)				
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	100% (2件)				

保護者への説明等	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか	50% (1件)				無回答 1
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	100% (2件)				
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	100% (2件)				
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	50% (1件)			50% (1件)	
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	100% (2件)				
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	100% (2件)				
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	100% (2件)				
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	100% (2件)				大丈夫
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	100% (2件)				
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	100% (2件)				
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	100% (2件)				「学校」と言って楽しみにしている。
	23	事業所の支援に満足しているか	100% (2件)				家族皆が満足している。男性職員の支援、指導が新鮮である。

\*1 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

\*2 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援

\*3 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

\*4 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。